

雨乞い本尊テテボさまは鎌倉時代の阿弥陀像

どうぞう あ み だ によらいりゅうぞう  
銅造阿弥陀如来立像



この像は銅でちゅうぞう 鑄造された高さ 46.5cm のらいごう 来迎阿弥陀如来立像で、きのねざわ 木野根沢地区では「ててぼ 手諦坊さま」と呼ばれ、あまご 雨乞いの本尊様としてしんこう 信仰されて来たと言えられてきました。ころも 衣がゆったりとおお 覆われ、きょうぶ 顔立ちや胸部がふっくらときんせい 均整良く造られています。めいぶん 銘文から、かまくら 鎌倉時代末期にあたるしょうわ 正和5年（1316）にさえもんのじょう 左衛門尉平清胤がごくらくおうじょう 極楽往生をほつがん 発願してぞうぞう 造像した仏像とわかります。

\*\*\*\*\*

県指定文化財：有形文化財（彫刻）

指定年月日：昭和29年3月31日

所在地：木更津市太田2-16-2（木更津市郷土博物館金のすず）

所有者：木野根沢区

員数：1 軀

公開・非公開の別：非公開（レプリカを木更津市郷土博物館金のすずで展示）

\*\*\*\*\*